

「21世紀型の巨匠」イヴァン・フィッシャーへの期待

平末 広 (音楽ジャーナリスト)

イヴァン・フィッシャーとブダペスト祝祭管弦楽団 (BFO) が17年ぶりに来日する。

私とBFOとの出会いは、1993年のザルツブルク音楽祭でペーテル・エトヴェシュの指揮で、クルタークの難曲を驚愕の精度で演奏した公演だった。

2010年の来日公演では、シュベルトの交響曲第8番「ザ・グレート」で木管楽器が指揮者を囲むという珍しい配置をとり、各楽器が互いを意識しながら歌い合う豊かな空間が生まれたことに驚かされた。

その実験精神は、今回演奏されるベートーヴェン交響曲第6番「田園」でも試みられ、木管楽器の首席が指揮台前に並び、弦楽器をリードし、通常配置された木・管楽器と呼応、情景描写が重要な要素でもある作品に相応しい立体感を演出した。ロイヤル・コンサートヘボウ管との映像でこの配置は確認できるが、それを今回、体験することができるかもしれない。

そして、メインのもう1曲は、CD録音が高い評価を受けているマーラーの交響曲の中から第1番「巨人」が演奏される。録音に際して

フィッシャーはブダペスト由来のこの作品について「ハンガリー人としてこの作品が聴衆に完璧で非常に美しい傑作であると確信させる道義的義務がある」と話し、複雑な諸要素を盛り込みスケール豊かに編み上げた理想的な演奏を実現した。さらにベルリン・フィルへの客演でも1楽章のあとに百戦錬磨の観客が拍手を贈るという奇跡のような反応も起こっている。

フィッシャーのこういった姿勢は、歴史上の「巨匠」たちの音楽を引き継ぎながら、HIP*等現在進行形の考察を取り込み、作品の歴史・文化的な要素にも気を配り、現代オーケストラの可能性を問いながら、とどまることなく成長を続けていく、いわば「21世紀型の巨匠」といえる。

ソリストのブルース・リウは、2021年・第18回ショパン国際ピアノコンクールで優勝、ドイツ・グラモフォン専属として、時代を越えたさまざまな作品の様式を熟知し、スケールの大きな演奏を繰り広げ、ピアノ表現の可能性を拡大する注目の存在だけに今回はフィッシャーとの共演でどのようなシナジー効果が生まれるか注目だ。

* 脚注: [HIP] (Historically Informed Performance) ビリオド奏法とも呼ばれ、作曲された当時の演奏スタイルを再現するアプローチ。



イヴァン・フィッシャー
(首席指揮者)
Iván Fischer, Chief Conductor

ブダペストでピアノ、ヴァイオリン、チェロを学んだ後、ウィーンでハンス・スワロフスキーに師事。1983年ブダペスト祝祭管弦楽団を創設。ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ニューヨーク・フィルへの客演をはじめ

め、ロイヤル・コンサートヘボウ管より名誉客演指揮者に任命された。これまでにワシントン・ナショナル響、リヨン国立歌劇場管、ベルリン・コンツェルトハウス管の首席指揮者を歴任し、ベルリン・コンツェルトハウス管からは名誉指揮者の称号が贈られている。

また、ブダペスト・マーラー・フェスティバルなど、数多くの音楽祭を創設。世界各地の歌劇場への客演を経て、「イヴァン・フィッシャー・オペラ・カンパニー (IFOC)」を設立。ハンガリー共和国大統領から金メダルを授与されたほか、フランス政府からは芸術文化勲章シュヴァリエを授与された。2013年ロンドンの王立音楽院の名誉会員に選出された。ブダペストおよびヴィンチェンツァの名誉市民。



ブルース・リウ
(ピアノ)
Bruce Liu, Piano

2021年第18回ショパン国際コンクール優勝。2024年ラインガウ音楽祭にて、リサイタル、室内楽、フランクフルト放響、ドイツ・カンマーフィル、チューリッヒ・トーンハレ管との共演と全5公演に出演。ロンドン響と

サー・アントニオ・パッパーノ、フランクフルト放響とアラン・アルティノグル、ウィーン響とマリー・ジャコ、ロッテルダム・フィルとラファ・シャニ等と共演。これまでに、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、フィラデルフィア管、モントリオール響、フィルハーモニア管などの主要オーケストラと、チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィ、ファビオ・ルイーゼ、ヨアナ・マルヴィッツ、サントウ・マティアス・ロウヴァリ、ヤニック・ネゼーセガンなどの指揮者と共演。また、ウィグモアホール、フィルハーモニー・ド・パリ、カーネギーホール、ジャンゼリゼ劇場、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ウィーン楽友協会でもリサイタルを行う。ドイツ・グラモフォンの専属レコーディング・アーティスト。



ブダペスト祝祭管弦楽団 Budapest Festival Orchestra

1983年創設。ハンガリーの首都ブダペストを拠点としつつ、世界の主要なコンサートホールで定期的に演奏を行うほか、国際的な舞台でその活動を展開している。創設以来、英国の『グラモフォン』から1998年と2007年に「最優秀録音賞」を授与され、2022年には聴衆の投票により「オーケストラ・オブ・ザ・イヤー」に選出された。特筆すべき成功の一つにマーラー作品への取り組みがあり、交響曲第1番の録音は2013年にグラミー賞にノミネートされた。

毎年、イヴァン・フィッシャー・オペラ・カンパニー、Müpaブダペスト、ヴィンチェンツァ・オペラ・フェスティバルと共同でオペラ公演も行っている。2024年、イヴァン・フィッシャー、ブダペスト祝祭管弦楽団、そして欧州ユース・オーケストラ(EUYO)の連携により、欧州オーケストラ・アカデミー (EOA) が設立された。

【割引チケット・車椅子席のご案内】

ジャパン・アーツびあで取扱い
横浜公演(2/21)は神奈川芸術協会でも取扱い (WEBでの取扱い無し)

◎シニア割引 (公演当日65歳以上): S席とA席を¥1,000引きでお求めいただけます。

◎学生割引 (社会人学生を除く公演当日25歳以下): 各ランクの半額にてお求めいただけます。
残席がある場合に限り、12月21日(月)10:00より受付を開始します。当日は顔写真付き学生証を提示のうえご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴します。)

◎車椅子の方は、ジャパン・アーツびあコールセンターへお問合せ下さい。

X (旧Twitter)でフォローする [@japan_arts](https://twitter.com/japan_arts)

次のことをあらかじめご了承のうえ、チケットをお求めください

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、チケット購入後のキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れると、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕をもってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等電子機器の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売はトラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

磨いた技は、心に響く。

人の心を動かし続ける音楽。 それを生み出すのも、また、人だ。

技を、精神を。自らのコアを、どこまでも磨き抜く。

一人ひとりの技が響き合い、ひとつになった音が、大きな感動を生み出していく。

デンソーは、己を磨き続けるすべての人を応援しています。

DENSO Crafting the Core